

泉鏡花の名作を翻案

戯曲 多鶴夫人の早すぎた春

五本松 昌平 著

本社の本

泉鏡花の名作「外科室」を翻案した、美女と医学生の恋愛物語である。明治の鹿鳴館時代にもたらされた烈風を背景に、女性の秘めた熱愛を劇的に描いた。

物語は明治20年、旧加賀藩江戸下屋敷に父親を訪ねて金沢からやってきた多鶴が、かつての幼なじみである医学生の高峰と出会うところから始まる。

二人は心を通わせる一方で、多鶴はその美貌から伯爵に見初められて結婚。その9年後、多鶴と高峰は、重病患者と外科医の立場で再会する。かつての恋人から執刀を受ける伯爵夫人は、秘密を漏らさないため、うわ言を誘う。



五本松 昌平

読書

全員少年探偵団

実力派作家による江戸川乱歩の「少年探偵団」シリーズへのオマージュ。原作への愛情たっぷりに、懐かしの物語世界をよみがえらせる。

物語は小学6年の吉田元基君が、コウモリのような男に誘拐される場面から始まる。男は何者なのか、少年はなぜ狙われたのか、謎に迫るのは

藤谷 治 著

といわれる麻酔を拒否して手術に臨む。

全編にわたって登場人物のせりふが、台本形式で記した。場面転換の仕方や登場人物のしぐさなどが細かく添えられており、演劇にしやすい一冊となっている。

(北國新聞社・864円)

新刊 しんかん

著者は京都にある同志社大女子寮の「寮母さん」だ。同大を卒業後、ひょんなことから寮で働くことになる。気がくせいな寮母さん、気さくな寮生たちとの生活を生き生きと描く。

日雇い労働者を支援して逮捕された寮生を警察署に迎えに行き、「決死隊」を組織し

著者は京都にある同志社大女子寮の「寮母さん」だ。同大を卒業後、ひょんなことから寮で働くことになる。気がくせいな寮母さん、気さくな寮生たちとの生活を生き生きと描く。

日雇い労働者を支援して逮捕された寮生を警察署に迎えに行き、「決死隊」を組織し

「コミに報じられない」「非公式会議」など第一次政権の失敗から編み出した政権運営の奥義、官僚支配の手法など国家権力の中枢が明かされる。

取材で首相が語った宿願は？ポスト安倍の行方は？興味を尽きない一冊だ。著者は本紙で「炉辺解説」を執筆中。

(講談社現代新書・864円)

山奥のスペインレストランで、突然客の男が叫んだ。「こんなところに呼ばれて、いったいなんの用だ」。騒然とする店内で、マスターが突然自殺した。それはゲームの始まりの合図だった。やがて集まった客たちの秘密が次々と明らかになり、巧みに語られるホラーサスペン

急逝した母の部屋の片付けを押しつけられたハルカの耳元で、聞き覚えのある声がかんた。「ハルカの場合」。結婚しても実母「べったり」の菜摘、妊娠を機にその関係に変化が訪れる。「菜摘の場合」。4組の母娘の機微を描いた連作小説。

(小学館文庫・659円)

「こんどの都知事は、私が選ぶ」という啓発ポスターのしつくりな感じが、芸能人の結婚報道での「妊娠はしていない」という一言の気にくわなき。ふと耳にした言葉の違和感に迫る、週刊文春の人気連載コラム。

(文春文庫・583円)

山奥のスペインレストランで、突然客の男が叫んだ。「こんなところに呼ばれて、いったいなんの用だ」。騒然とする店内で、マスターが突然自殺した。それはゲームの始まりの合図だった。やがて集まった客たちの秘密が次々と明らかになり、巧みに語られるホラーサスペン

急逝した母の部屋の片付けを押しつけられたハルカの耳元で、聞き覚えのある声がかんた。「ハルカの場合」。結婚しても実母「べったり」の菜摘、妊娠を機にその関係に変化が訪れる。「菜摘の場合」。4組の母娘の機微を描いた連作小説。

(小学館文庫・659円)

「こんどの都知事は、私が選ぶ」という啓発ポスターのしつくりな感じが、芸能人の結婚報道での「妊娠はしていない」という一言の気にくわなき。ふと耳にした言葉の違和感に迫る、週刊文春の人気連載コラム。

(文春文庫・583円)

賢者の戦略 生き残るためのインテリジェンス

手嶋 龍一、佐藤 優 著



動くことでロシアが中国やイランと連携を強め、それが中国の拡大や膨張を招き、日本の安全保障が直接的に脅かされることにつながる。にもかかわらず日本での関心の低さに警鐘を鳴らす。

「イスラム国」についても、近代国家や欧米の枠組みで考えなければならないこと、そしてイスラム国と敵対するイランが複雑な動き

本書はNHKのワシントン特派員の経験もある外交ジャーナリストの手嶋龍一、外務省で情報通と言われた佐藤優の両氏による、新潮新書インテリジェンス対談シリーズの3作目。2012年の『動乱のインテリジェンス』、13年の『知の武装―救国のインテリジェンス』に続くものである。今回は、2014年の国際政治の焦点となったウクライナ情勢と「イスラム国」問題を例に説き起している点に特徴がある。ウクライナについては「21世紀の火薬庫」と呼ばれ、西側諸国が対ロシア制裁に

日本に必要な「知性主義」

の姿勢から、親米保守派が陥りがちな「日米同盟信仰」にも疑念を提示している。

もちろん、両氏の立場は朝日新聞などに代表される戦後リベラル派に与するものではない。かといって、ともすれば親米でありながら戦前志向でもあるといふ、いまどきの「保守」主流のちよへへさにも同調しない。それこそ両氏の言う「知性主義」の真骨頂である。日本が将来取るべきスタンスを指し示していると言えよう。▼評者＝酒井亨・金沢学院大准教授(新潮新書・864円)

◇手嶋氏は本紙「北風抄」の執筆者。

古事記

池澤 夏樹 著



俗っぽい神々の冒険譚

「世界文学全集」につづき、池澤夏樹の個人編集による「日本文学全集」の刊行がスタートした。

この全集の最大の特徴は、全30巻のうち13巻に、現代作家による古典作品の新訳が収録される点にある。2015年刊行予定分だけでも、川上未映子訳「たけくらべ」、円城塔訳「雨

側で会ったところで性交といつことをしてみよう。これほどつぎつぎと「古事記」現代語訳がこれまでにあったらうか。イザナキは妻を追って冥界に渡り、アマテラスは弟スサノヲの所業にあきれて天の石屋戸に隠れ、1対80の神々の戦いは起きると、ファンタジー冒険譚としてのストーリーは派手で有名なので、臆さず読むと読み進められる。

ここで感じるのは、神々の人間くささだ。例えば娘を娶うとする男に試練を与える男親などが描かれ、神の行動の動機はほとんど

安全・安心にお届けいたします。

北陸新幹線開業記念

怪談 剝房櫻

好評発売中!

平成26年12月27日(土)～平成27年1月4日(日)の間は北國新聞イベントガイドでの販売となります。北國新聞イベントガイド 検索

北國新聞イベントガイド <http://hk-event.jp>

株式会社 北國輸送センター

■本社/金沢市南町2-1 TEL076-260-3566

■白山別館/白山市松本町2506 TEL076-274-7707

北陸新幹線開業記念

怪談 剝房櫻

好評発売中!

平成26年12月27日(土)～平成27年1月4日(日)の間は北國新聞イベントガイドでの販売となります。北國新聞イベントガイド 検索

北國新聞イベントガイド <http://hk-event.jp>

早替り、本水、大立廻り、十八代目勘三郎が得意とした人気演目。

3月20日(金)～23日(月) 金沢歌劇座 全6公演

料金は税込み) サラバカ席指定12000円、S席指定12000円/A席(自由)7000円

※当公演のチケットは、全席指定12000円、S席指定12000円/A席(自由)7000円

※公演料金は、全席指定12000円、S席指定12000円/A席(自由)7000円

開演日 [劇の部] [楽の部]

20日(金) 正午開演 午後6時半開演

21日(土) 正午開演 午後4時開演

22日(日) 正午開演 午後4時開演

23日(月) 正午開演

プラチナ席はすべて売り切れました。

中村 獅童 片岡 亀蔵 中村 七之助 中村 勘九郎